

1月5日 神川・山本鼎の会の方へのヒアリング

金井忠一さん

- ・神川小創立 90 周年の時の PTA 会長。
- ・90 周年の時に山本鼎の部屋を設立。当時は一階だったが現在は二階。
- ・深町先生から絵をどうにかしたいということを知りて空き教室を山本鼎の部屋とした。
- ・深町先生がいなければこの部屋はできていない。
- ・部屋を作ったことで自画像などの作品や資料が全国から集まった。

尾澤敏春さん

- ・1～2 年生は自由に絵を描くので感動させられる。
- ・現在の教育は「直接感じられるものが尊い」学習ができているのか。
- ・「感動」を大事にして学習してもらいたい。
- ・自由な表現は美術だけに大事なことではなく、全てのことに言える。

神田愛子さん

- ・神川小学校で児童に勉強を教えていた。
- ・山本鼎の部屋は「自由画の部屋」であり「宝」である。
- ・昭和時代の児童の絵が残っているのは当時の先生方が大切に保管してくださっていたから。
- ・地元の人の絵であるという価値はかなり大きい。
- ・教師時代を振り返り、「自分が直接感じたものが一番尊い」という山本鼎の言葉はとても大切である。全てのことに共通する言葉である。
- ・小学校 3～4 年生で必ず山本鼎について学習する。

岩野さん

- ・神川・山本鼎の会の発起人のひとり。最初は清水さん、萩原さん、宮崎さん、岩野さんの四人で会を結成した。
- ・児童自由画運動 100 年の年になにかやりたいという思いがあった。
- ・今年の 3 月で 5 年経つ。
- ・木彫教室に通い、尾澤さん指導の下、木彫作品を作っていた。

宮崎さん

- ・版画教室に通い、山本鼎について興味を持った。
- ・小学生でもタブレットで学習できる今、絵に描かれた場所を自分たちで探してみても、今と昔を比べてみるという授業はどうだろうか。